

ミダレカクモンハマキ

幼虫は6月頃に広葉樹などの葉を綴るイモムシ（幼虫）。最大長約20mm。頭部は茶色。体は濁った緑色。背面には前方に黒い斑点が、後方に白い斑点がある。

ナシやリンゴでは害虫とされる。



1. 終齢幼虫，体長18mm，1990/6/15. 新得町，アオダモ.



2. 幼虫の巣，1990/6/15，1の幼虫の巣.



3. 雄成虫，体長8mm，1の幼虫を飼育.

【学名】 *Archips fuscocupreanus*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) ， ハマキガ科 (Tortricidae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州；朝鮮半島，シベリア，千島.

【特徴】

終齢幼虫は体長約20mm。頭部は褐色，単眼域と後頬が黒い。胸脚は黒色。体は淡い緑色から灰色がかった緑色。前胸背楯（頭部のすぐ後の背面）は黒色，前半中央で褐色，時に全体黒色。肛上板（尾端背面）は黒色または体と同色。刺毛基板は胸部と腹部1節で黒色，腹部2節以降では体より白っぽく，中心が小さく黒い。中齢幼虫は未観察。

カクモンハマキやアトボシハマキに似るが，頭部の色彩で区別できる。

【生態】

宿主：様々な広葉樹，ヤナギ，クルミ，カバノキ，ブナ，ニレ，バラ，カエデ，モクセイ，カキノキ，クワ，マメ各科など，

ヨーロッパトウヒ，カラマツ，草本．リンゴ，ナシ，サクラ類が主な食樹といわれる．

年1回発生，成虫は6～8月に出現，幹や枝に産まれた卵で越冬するといわれている．

北海道の低山地では終齢幼虫が6月中旬に採れ，飼育したところ6月下旬に成虫が羽化した．幼虫は数枚の葉を合わせて巣を作る．

【被害と防除】

果樹園のリンゴやナシでは主要害虫で，防除が行われている．他の樹種では発生量は少なく，木の成長や景観の面で問題になったことはない．防除は普通必要とされない．

【文献】

1957. 江崎悌三ほか. 原色日本蛾類図鑑（上）：I-XIX, 1-318, pls 1-64. 保育社，大阪.

1969. 一色周知監修. 原色日本蛾類幼虫図鑑（下）：I-VI, 1-237, pls 1-68. 保育社，大阪.

1975. Yasuda, T. The Tortricinae and Sparganothinae of Japan (Lepidoptera: Tortricidae) (II). Bull. Univ. Osaka Pref., ser. B, 27: 79-251.

1977. 奥野孝夫，田中寛，木村裕. 原色樹木病虫害図鑑：I-VIII, 1-365, pls 1-64. 保育社，大阪.

1982. 井上寛ほか. 日本産蛾類大図鑑. Vol.1: 1-968; Vol. 2: 1-556, pls 1-392. 講談社，東京.

*1983. 上条一昭，駒井古実，鈴木重孝. ハマナスを加害する害虫. 光珠内季報，55：17-21.

*1984. 鈴木重孝，駒井古実. 北海道における針葉樹を摂食する小蛾類. 北海道林業試験場報告，22：85-129.

1986. 山口昭，大竹昭郎，編集. 果樹の病虫害，診断と防除. 全国農村教育協会，東京.（形態，生態，被害，防除）

*1983. 上条一昭，駒井古実，鈴木重孝. ハマナスを加害する害虫. 光珠内季報，55：17-21.

*の文献は北海道立林業試験場ホームページの「北海道立林業試験場・研究成果文献データベース」で見ることができます.

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ミダレカクモンハマキ hamaki/midakaku/
kaisetu.htm

「文章」原秀穂，北海道立林業試験場，1991/11/11-2001/12/22.

1yochu.JPG, 1yochusu.JPG, 1seichu.JPG

「写真1～3」原秀穂，北海道立林業試験場，1990.

「写真個体の種の同定」那須義次博士，大阪府病虫害防除所，1993頃